

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	京都大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	ライフステージに応じた緩和ケアを実践する人材養成コース						
対象者	医学専攻博士課程、人間健康科学系専攻修士課程						
修業年限（期間）	4年（博士課程）、2年（修士課程）、						
養成すべき人材像	小児、AYA(Adolescent and Young Adult)世代、壮年、高齢者の各世代の患者とその家族に応じた苦痛や苦悩へのマネジメントとケアができる医療者。治療期からがん患者の身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな苦痛への対応と精神的支援を行い、治療成績とQOLの向上に寄与できる医療者						
修了要件・履修方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>医学専攻博士課程：医学研究科に4年以上在学し、分野科目から24単位以上、大学院教育コース「腫瘍学コース」、「ゲノム・オミックス統計解析コース」、「医工情報学連携コース」のいずれかのコース科目より6単位以上の合計30単位以上を修得し、研究指導を受け、かつ、医学研究科の行う博士論文の審査及び試験に合格すること。</li> <li>人間健康科学系専攻修士課程：2年以上在学し、30単位以上を修得し、研究指導を受けて論文を作成し、修士論文の審査に合格すること。</li> </ul>						
履修科目等	<ul style="list-style-type: none"> <li>医学専攻博士課程：「腫瘍学コース」、「ゲノム・オミックス統計解析コース」、「医工情報学連携コース」のいずれかのコース科目より6単位 臨床腫瘍学4単位、緩和医療学2単位、医療倫理学各論2単位、</li> <li>人間健康科学系専攻修士課程修士課程：臨床腫瘍学4単位、緩和医療学2単位、</li> <li>チーム医療教育：各診療科の合同カンファレンス、緩和ケアチームのカンファレンス</li> </ul>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	緩和ケアチームや緩和ケア病棟での実習を通して多職種協働によるチーム医療の教育を実施する。						
指導体制	人間健康科学系専攻の緩和ケアの専門教員と京都大学医学部附属病院緩和ケアセンターの多職種チームのスタッフ（医師、看護師、薬剤師、作業療法士など）が指導する。各診療科の合同カンファレンスや緩和ケアチームのカンファレンスなどを通して教育する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	<p>緩和ケアを実践する医療者（がん診療連携拠点病院、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟など）</p> <p>緩和ケアを教育する医療者（大学、がん診療連携拠点病院、緩和ケアチームなど）</p> <p>緩和ケアを研究する医療者（大学、研究所、がん診療連携拠点病院など）</p>						
受入開始時期	平成29年6月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医学専攻博士課程	1	1	1	1	1	5
	人間健康専攻修士課程	1	1	1	1	1	5
	計	2	2	2	2	2	10